西山台

長崎市立
西山台小学校
文責　校長

やる気を高める授業
自走する子どもへ





本校では、子どもたちが自ら問いを持ち、未来へ向かってたくましく歩む「自走する力」の育成に取り組んでいます。

授業ではまず、子どもたちの「なぜ？」「やってみたい！」を引き出す体験や問いかけを通して、学習へのエンジンに火をつけています。すると、写真の児童のように、自らの考えを学習カードに書き始めたり、教師の話を真剣に聞いたりする姿へと変容します。学習を進める中では、スモールステップで達成感を積み重ね、「できた！」「わかった！」と誰もが実感できる工夫を重ねるように心掛けています。児童一人一人が、主体的に走り出せるような環境づくりが私たちの目指す姿です。

一度「自走」を始めた子どもたちに対しては、教員が伴走者となり、適切な問いかけやアドバイスによって自走を止めることなく、さらに深みのある学びへと発展できるよう個別にサポートしています。

子どもたちが目を輝かせ、真剣な表情で課題に向き合う姿は、本校の大きな誇りです。

11月は、保護者や地域の力をお借りして、子どもたちが成長する教育活動があります。子どもたちの成長を一緒に楽しみましょう。

就学時健康診断



今年度の就学時健診では、19名の子どもたちが来校しました。健診の仕方等を保護者へ説明している時間に、本校職員と一緒に自己紹介や読み聞かせをして時間を過ごしましたが、どの子どもにも笑顔が見られ、小学校生活へのワクワク感が伝わりました。

一月の入学説明会で再会するのがとても楽しみです。

校長室から

今月初め、北九州市で開催された研究発表会に参加しました。

一番驚いたのは、学校でカブトガニを飼育していることでした。

発表があった学校では、付箋を活用し、自分の考えを整理分類しながら相手に伝えることに取り組んでいました。子どもたちはこの活動に慣れており、付箋を使って対話をしながら、お互いの発表をさらに良くしようという姿が見られ、すばらしかったです。



５年生に実践を語る野口さん

大学生との平和交流

五年生の平和学習の一環で、高校生平和大使を経験し、現在大学でも平和活動に取り組んでいる野口さんをお招きし、子どもたちに自身の取組を話したり、一緒に平和について語り合ったりしていただきました。自分の考えや将来の目標をしっかりと持っている野口さんの話には説得力があり、子どもたちは、うなずいたり、メモを取ったりしながら話を聞くことができました。また、自分たちが行動しようと考えている平和への取組にアドバイスをいただいたことで、子どもたちは平和に対する考えを深めることができました。

別日には、長崎純心大学の増田さんにもお越しいただき、平和についての交流を深めていただきました。

五年生は、対話を通して、人が考える平和の価値観を知ることができました。